

平成27年2月17日 開会

平成27年2月17日 閉会

(定例第1回)

# 玄界環境組合議会会議録

玄界環境組合



## 目 次

### 第1号（2月17日）

告 示	1
応招議員	1
議事日程	2
本日の会議に付した事件	2
出席議員	2
欠席議員	2
事務局職員出席者	2
説明のため出席した者の職氏名	2
開 会	3
議席の指定	3
会期の決定	4
会議録署名議員の指名	4
諸報告	4
議案第1号 福岡県市町村職員退職手当組合理約の変更について	5
議案第2号 平成26年度玄界環境組合会計補正予算（第2号）について	5
議案第3号 平成27年度玄界環境組合会計予算について	10
閉 会	19
署 名	20

玄界環境組合告示第1号

平成27年玄界環境組合議会第1回定例会を次のとおり招集する。

平成27年2月10日

玄界環境組合

組合長 中村 隆象

1 期 日 平成27年2月17日（火曜日）午後1時30分

2 場 所 古賀市役所4階第1委員会室

---

○開会日に応招した議員

吉田 益美君

植木 隆信君

安武 研二君

桐島 誠君

椛村 公彦君

礒野九州男君

飯尾 助広君

奴間 健司君

---

○応招しなかった議員

---

---

平成27年 玄 界 環 境 組 合 議 会 第 1 回 定 例 会 会 議 録

平成27年2月17日（火曜日）

---

議事日程（第1号）

平成27年2月17日 午後1時30分開会

- 日程第1 議席の指定  
日程第2 会期の決定  
日程第3 会議録署名議員の指名  
日程第4 諸報告  
日程第5 議案第1号 福岡県市町村職員退職手当組合理約の変更について  
日程第6 議案第2号 平成26年度玄界環境組合理補正予算（第2号）について  
日程第7 議案第3号 平成27年度玄界環境組合理予算について
- 

本日の会議に付した事件

- 日程第1 議席の指定  
日程第2 会期の決定  
日程第3 会議録署名議員の指名  
日程第4 諸報告  
日程第5 議案第1号 福岡県市町村職員退職手当組合理約の変更について  
日程第6 議案第2号 平成26年度玄界環境組合理補正予算（第2号）について  
日程第7 議案第3号 平成27年度玄界環境組合理予算について
- 

出席議員（8名）

吉田 益美君	植木 隆信君
安武 研二君	桐島 誠君
椛村 公彦君	礒野九州男君
飯尾 助広君	奴間 健司君

---

欠席議員（なし）

---

欠 員（なし）

---

事務局出席職員職氏名

議会事務局長 藤井 巧一君

---

説明のため出席した者の職氏名

組合長	中村 隆象君	副組合長	谷井 博美君
副組合長	小山 達生君	副組合長	長崎 武利君
事務局長	篠崎 初雄君	総務課長	藤井 巧一君
総務課長補佐	常岡 仁志君	会計管理者	川島 薫君
代表監査委員	熊野 君男君		
古賀清掃工場場長			中村真一郎君
宗像清掃工場場長			梶谷 博之君
古賀清掃工場場長補佐			管 英雄君
宗像清掃工場場長補佐			北崎 光雄君

午後 1 時30分開会

〔出席議員 8 名〕

○議長（奴間 健司君） それでは、皆さん、こんにちは。ただいまから平成 27 年玄界環境組合議会第 1 回定例会を開会いたします。

議員定数 8 名中、ただいまの出席議員は 8 名であり、定足数に達しておりますので、議会は成立いたしました。

直ちに本日の会議を開きます。

### 日程第 1. 議席の指定

○議長（奴間 健司君） 日程第 1、議席の指定を行います。

会議規則第 3 条第 2 項の規定により、宗像市の植木隆信議員を 2 番に、福津市の椛村公彦議員を 5 番に、同じく福津市の碓野九州男議員を 6 番に指定いたします。

ここで、新しく本組合議会の議員になりました宗像市の植木議員、福津市の椛村議員、同じく碓野議員からご挨拶をいただきたいと思ひます。

まず、植木議員、お願いします。

○議員（2 番 植木 隆信君） こんにちは。宗像市で社会常任委員長をしております植木と申します。2 年前にここで皆さんと一緒に論議をさせていただきました。よろしくお願ひいたします。

○議長（奴間 健司君） 続きまして、椛村議員、お願いします。

○議員（5 番 椛村 公彦君） 2 月 2 日に福津市議会の議長に就任いたしました椛村です。よろしくお願ひいたします。

○議長（奴間 健司君） 碓野議員、お願いします。

○議員（6 番 碓野九州男君） 同じく、碓野九州男でございます。私も 4 年前か、ちょっと以前、同じようにここで勉強させていただきました。どうぞ、新人でございますので、よろしくひとつお願ひいたします。

○議長（奴間 健司君） ありがとうございます。

## 日程第2. 会期の決定

○議長（奴間 健司君） 日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。本定例会の会期は、本日1日間といたしたいと思いますが、これに異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（奴間 健司君） 異議なしと認めます。よって、会期は本日1日間と決定いたしました。

---

## 日程第3. 会議録署名議員の指名

○議長（奴間 健司君） 日程第3、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第87条の規定によって、1番、吉田益美議員、2番、植木隆信議員、以上2名を指名いたします。

---

## 日程第4. 諸報告

○議長（奴間 健司君） 日程第4、諸報告をいたします。

本日は、地方自治法第121条の規定により、議案等の説明のため出席を求めていますのは、組合長、副組合長、会計管理者、監査委員、その他関係担当職員でございます。

次に、監査委員から地方自治法第235条の2第3項の規定により、平成26年度6月分から9月分までの出納検査の結果報告書を受領しましたので、送付いたしております。

次に、組合長から第1回定例会招集に当たって、挨拶並びに報告事項があれば、お願いいたします。

組合長。

○組合長（中村 隆象君） 本日は、平成27年玄界環境組合議会第1回定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様におかれましては、公私とも大変お忙しい中、ご参集いただきまして、まことにありがとうございます。

私は、昨年11月の古賀市長選挙におきまして、多数の市民の皆様方のご支援をいただき、古賀市長に就任いたしております。また、年頭の正副組合長会議において、互選により組合長に選出されており、この重責を全うすべく全力で取り組む所存でありますので、議員の皆様にもご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、このたびの第1回定例会に提案いたしております議案は、退職手当組合規約の改正、平成26年度会計補正予算、平成27年度当初予算の3議案であります。ご審議のほどよろしくお願い申し上げまして、議会招集のご挨拶とさせていただきます。

次に、本日提案いたしております議案の説明を申し上げます。

議案第1号は、福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の団体名名称変更に伴う規約改正であります。

議案第2号は、平成26年度玄界環境組合会計補正予算（第2号）であります。歳入歳出をそれぞれ1,295万円増額し、総額46億1,499万8,000円とするものです。

議案第3号は、平成27年度玄界環境組合会計当初予算であります。歳入歳出それぞれ総額

45億7,464万5,000円となっており、平成26年度当初予算と比べると、1,937万4,000円の増額となります。

以上が、上程する議案の概要であります。

議員の皆様におかれましては、よろしくご審議の上、議決を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（奴間 健司君） 以上で、組合長の挨拶並びに報告事項を終わります。

---

#### 日程第5. 議案第1号 福岡県市町村職員退職手当組合理約の変更について

○議長（奴間 健司君） 日程第5、議案第1号福岡県市町村職員退職手当組合理約の変更についてを議題といたします。

事務局長に提案理由と内容の説明を求めます。

事務局長。

○事務局長（篠崎 初雄君） それでは、議案第1号福岡県市町村職員退職手当組合理約の変更について説明いたします。

福岡県市町村職員退職手当組合の構成団体の一つである有明広域葬斎施設組合が、葬祭事業単一の組合から、ごみ処理事務を加えた複合的一部事務組合に組織改編することに伴い、その名称を有明生活環境施設組合に変更することに伴う一部改正となります。

この規約の施行期日につきましては、平成27年4月1日から施行するというものでございます。

以上で説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（奴間 健司君） これより質疑に入ります。何かございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（奴間 健司君） 質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

まず、本案に対する反対討論の発言を許します。ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（奴間 健司君） 次に、本案に対する賛成討論の発言を許します。ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（奴間 健司君） 討論を終結いたします。

直ちに採決いたします。本案を原案のとおり決定することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立7/7名〕

○議長（奴間 健司君） 起立全員であります。よって、議案第1号は原案のとおり可決されました。

---

#### 日程第6. 議案第2号 平成26年度玄界環境組合会計補正予算（第2号）について

○議長（奴間 健司君） 日程第6、議案第2号平成26年度玄界環境組合会計補正予算（第2号）についてを議題といたします。



事務局長に提案理由と内容の説明を求めます。

事務局長。

○事務局長（篠崎 初雄君） それでは、議案第2号、平成26年度玄界環境組合会計補正予算（第2号）について説明いたします。少し長くなりますので、座って説明をさせていただきます。

今回の補正は、基本的に予算の整理補正となっております。既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ1,295万円を増額し、歳入歳出予算総額を46億1,499万8,000円とするものです。

歳出のほうから主なものの説明をいたします。13、14ページをお願いいたします。

2款1項1目一般管理費、補正前の額に2,847万円増額し、9,703万9,000円とするものでございます。

2節給料、3節職員手当等、4節共済費、11節需用費、13節委託料において減額するものです。

25節積立金については、2,978万2,000円増額するものです。これは、3款2項古賀清掃工場じん芥処理費の不用額を積み立てるものです。

3款1項1目処分場管理費、補正前の額から24万4,000円減額し、1,348万7,000円とするものです。

13節委託料において、処分場周辺環境調査委託の入札残及び植栽管理委託の執行残を減額するものです。

15、16ページをお願いいたします。

2項古賀清掃工場じん芥処理費1目じん芥処理総務費、補正前の額から1,003万5,000円減額し、2億2,726万3,000円とするものです。減額の主なものは、11節需用費の電気料において、ボイラー・タービンの開放点検を行ったことで発電効率が向上した結果、買電が減となり717万6,000円、13節委託料の環境モニタリング調査委託における入札残202万4,000円の減額です。

2目可燃物処理費、補正前の額から1,664万8,000円減額し、9億8,285万3,000円とするものです。これは、11節需用費の燃料費において、10月定例会で1,265万7,000円の増額補正を可決いただきましたが、11月以降、原油価格の下落を受け入札価格が低下しましたので、ほぼ同額の1,268万7,000円を減額するものです。

13節委託料の清掃灰処理委託において、予定より清掃灰が発生しなかったため、396万1,000円を減額するものです。

3目不燃物処理費、補正前の額から53万6,000円減額し、1億884万3,000円とするものです。減額の主なものは、13節委託料の不燃物・処理困難物等処理委託において、契約単価の減により35万8,000円減額するものです。

3項宗像清掃工場じん芥処理費1目じん芥処理総務費、補正前の額から285万2,000円減額し、1億9,483万6,000円とするものでございます。

17、18ページをお願いいたします。

主なものは、13節委託料の環境調査等委託の入札残160万円及び施設警備委託の入札残70万円の減額と15節工事請負費57万5,000円の増額です。

増額の工事請負費につきましては、安全パトロールで指摘を受けましたガス化棟3カ所に安全対策用の庇を設置するものがございます。

2目可燃物処理費、補正前の額に1,519万5,000円増額し、7億4,880万3,000円とするものがございます。

主なものは、11節需用費、消耗品費400万円の増、これは2炉操業の増加に伴う炉前資材の購入が増えたことによるものです。燃料費680万円の減は、コークスの購入契約の単価減に伴う執行残によるものです。

13節委託料、施設定期整備等委託1,219万5,000円の増は、保守整備により新たに整備が必要と判明したことによるものがございます。飛灰処理委託630万円の増は、固化灰処理の増加によるものです。

3目不燃物処理費、補正前の額から40万円減額し、1億906万4,000円とするものがございます。これは、13節委託料の不燃物・処理困難物等処理委託の契約単価の減によるものです。

19、20ページをお願いいたします。

以上、歳出合計46億1,499万8,000円でございます。

続きまして、歳入の説明をいたします。

戻っていただきまして、11、12ページをお願いいたします。

2款1項1目ごみ処理場使用料、補正前の額から350万円減額し、1億8,646万6,000円とするものがございます。これは、宗像市の汚泥搬入量が見込み量より減少したためでございます。

4款1項1目財政調整基金繰入金、補正前の額から461万5,000円減額し、6,876万5,000円とするものがございます。これは、本部及び古賀清掃工場の財政調整基金を今回の補正予算の調整として繰り入れを減額するものです。

宗像清掃工場の財政調整基金については、今回の補正予算の財源として、新たに699万8,000円を繰り入れるものです。

6款1項1目雑入、補正前の額に2,106万5,000円増額し、1億4,051万6,000円とするものがございます。

2節古賀清掃工場雑入は、1,262万円の増。主な理由といたしまして、有価物売却益は予算計上単価より単価増のため522万3,000円の増、電力売却益は歳出で説明いたしましたとおり、発電効率の向上により717万円の増でございます。

3節宗像清掃工場雑入は、古賀工場と同様の理由により、有価物売却益が800万円の増、全体として844万5,000円の増となっております。

以上、歳入合計46億1,499万8,000円とするものがございます。

以上で説明を終わります。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

○議長（奴間 健司君） これより質疑に入ります。

○議員（1番 吉田 益美君） 全般でいいんですか。

○議長（奴間 健司君） 全般で結構です。

吉田議員。

○議員（1番 吉田 益美君） 18ページの可燃物処理のところの13節の委託料、これをも  
う少し詳しく説明をお願いいたします。1,849万5,000円補正する内容をもう少し詳し  
く。

○議長（奴間 健司君） 宗像工場長。

○宗像清掃工場場長（梶谷 博之君） 今回、補正をお願いするのは、施設の保守整備と灰処理  
の委託でございます。施設の保守整備の内訳でございますが、今回2カ所ありまして、1カ所  
が直流無停電電源装置、この交換が1,000万円、それから灰処理装置の設備の補修、これ  
が260万円となっております。

この無停電電源装置といいますのは、工場の稼働状況を制御するうちの監視装置が直流電源  
であるため、予備電源として配置しております。内容につきましては、蓄電池48個と制御部  
品の交換でございます。今の装置は耐用年数が10年としておりますが、現在12年間使って  
まいりました。しかし、日常点検で不良箇所が多くなりまして、今回交換をするものでござい  
ます。

それから、灰処理装置の整備につきましては、平成27年度につきましては、灰をキレート  
処理する必要があります。そういったことで、今回、この整備もあわせてするものでござい  
ます。

それから、次の灰処理の委託のことでございます。これは、現在、工場の最終処分場に平成  
17年度までに発生した飛灰約2,200トンほどを保管しております。これにつきましては、  
最終処分場の延命ということから、本年度から年次計画的に排出をしておりましたが、今回、  
受け入れ先のほうが追加で100トンほどの受け入れが可能となりましたので、その処理費を  
計上しております。

○議長（奴間 健司君） 吉田議員。

○議員（1番 吉田 益美君） まず、施設の方はバッテリー交換ということで理解していいで  
しょうか。

それと、次の灰処理は、今まで17年度までの蓄積の分ということで、今後、今から少しず  
つこのように排出していくものでしょうか。

この2点、すみません。

○議長（奴間 健司君） 宗像清掃工場場長。

○宗像清掃工場場長（梶谷 博之君） 直流無停電電源装置につきましては、主にバッテリーの  
交換48個でございます。大型のバッテリーで非常に単価が高うございます。そういったこと  
で、金額が張っております。

それから、最終処分場の灰につきましては、セメントで処理をしてる関係で、本来は、埋め  
立て処理ということで、入れとったんですが、最終処分場の容量が5カ年分しかありません。  
今、もう3年分入れておりますので、そういった施設の延命を兼ねまして、年次的に今から出

してまいります。

○議長（奴間 健司君） よろしいですか。

○議員（1番 吉田 益美君） はい。

○議長（奴間 健司君） ほかにございませんか。

植木議員。

○議員（2番 植木 隆信君） 歳入の12ページをお願いします。

財政調整基金の繰入金の関係なんですけど、現在、どれだけの財政調整基金が古賀工場、宗像工場で積み立てられているのかということ、まず一つお聞きしたいと思います。

○議長（奴間 健司君） 総務課長。

○総務課長（藤井 巧一君） 基金の積み立て状況ですけど、本年1月末の基金の状況ですけど、本部につきましては1億3,806万7,266円、閉鎖及び埋立物再処分基金につきましては3億6,333万9,068円、古賀清掃工場の部分につきましては4億8,962万4,747円、宗像清掃工場財政調整基金につきましては4億5,312万9,642円です。

なお、監査委員さんからの例月の報告書の一番おしりのほうに、基金の9月末ですけど、9月末の状況は記載されていると思います。

○議長（奴間 健司君） 植木議員。

○議員（2番 植木 隆信君） この基金についてもですね、こういった状況だというのはわかっていたんですけども、基本的には、こういった内容でこの基金を活用していくのかということについて、基金の活用方針、それがわかれば教えてもらいたい。

○議長（奴間 健司君） 総務課長。

○総務課長（藤井 巧一君） 本部の財調につきましては、平成26、27、28年度、この3年間で4,300万円ずつ入れて、約1億3,000万円ですけど、それを入れて構成市町の分担金を軽減する予定にしております。

工場の部分につきましては、大きな事故の場合の財源として保留をしておく。かなりちょっとたまってきましたので、状況に応じて、構成市町の分担金軽減のために繰り入れを行っていくというふうに考えております。

○議長（奴間 健司君） ほかにございませんか。よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（奴間 健司君） それでは、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

まず、本案に対する反対討論の発言を許します。ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（奴間 健司君） 次に、本案に対する賛成討論の発言を許します。ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（奴間 健司君） 討論を終結いたします。

直ちに採決いたします。本案を原案のとおり決定することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立7／7名〕

○議長（奴間 健司君） 起立全員であります。よって、議案第2号は原案のとおり可決されました。

---

**日程第7. 議案第3号 平成27年度玄界環境組合会計予算について**

○議長（奴間 健司君） 日程第7、議案第3号平成27年度玄界環境組合会計予算についてを議題といたします。

事務局長に提案理由と内容の説明を求めます。

事務局長。

○事務局長（篠崎 初雄君） 議案第3号、平成27年度玄界環境組合会計予算について説明をいたします。少し長くなりますので、座って説明をさせていただきます。

予算書、表紙の次のページをお願いいたします。条文を朗読いたします。

---

平成27年度玄界環境組合会計予算

平成27年度の玄界環境組合会計予算は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算）

第1条 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ45億7,464万5,000円と定める。

2 歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は「第1表 歳入歳出予算」による。

（歳出予算の流用）

第2条 地方自治法第220条第2項ただし書きの規定により、歳出予算の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

（1）各項に計上した給料、職員手当及び共済費（賃金に係る共済費を除く）に係る予算額に過不足を生じた場合における同一款内でのこれらの経費の各項の間の流用。

平成27年2月17日提出

玄界環境組合組合長 中村 隆象

---

事項別明細の歳出を先に説明いたします。8ページ、9ページをお願いいたします。

説明については、目ごとの予算額を申し上げました後に、事業区分別の説明欄の主な内容について説明をいたします。

1款1項1目議会費でございます。前年度より4万9,000円減の94万5,000円を計上しております。主なものは、9節旅費の定例会2回と臨時会2回の費用弁償と13節委託料の会議録作成委託でございます。

2款1項1目一般管理費、前年度より473万7,000円増の6,883万9,000円を計上しております。増の主なものは、派遣職員負担金479万8,000円でございます。職員人件費（本部）3,427万7,000円、組合職員4名分の2節給料、3節職員手当等、4節共済費、19節負担金、補助及び交付金でございます。一般管理事務費（本部）3,456万2,000円、主なものは、1節報酬51万3,000円については特別職の報酬でございます。

10ページ、11ページをお願いいたします。

11節需用費213万2,000円、主にコピー用紙等に要する消耗品費63万4,000円、本部事務所電気料142万8,000円でございます。13節委託料340万7,000円、主に各電算システム保守等委託258万2,000円でございます。14節使用料及び賃借料305万5,000円、主に電算システム使用料268万3,000円、財務会計、人事給与、文書管理、例規の各種電算システムの使用料でございます。

19節負担金、補助及び交付金1,996万円、主に本部派遣職員2.3名分の給与負担金として1,979万8,000円でございます。25節積立金431万1,000円は、財政調整基金及び閉鎖基金の定期預金運用を行い、その利子収入を基金に積み立てるものでございます。27節公課費15万6,000円は、旧福岡清掃工場に係る「公害健康被害の補償等に関する法律」に基づく過去の汚染負荷量に対する賦課金でございます。

12ページ、13ページをお願いいたします。

2目閉鎖・再処分事業費、前年度より114万9,000円増の342万4,000円を計上しております。13節委託料212万4,000円は旧福岡清掃工場周辺の水質調査の委託料でございます。15節工事請負費130万円は旧福岡清掃工場跡地の維持工事費であり、前年度は工事を行っておりません。

2項1目監査委員費、前年度と同額の12万7,000円を計上しております。監査委員2名の報酬及び費用弁償等でございます。

3款1項1目処分場管理費、前年度より90万3,000円減の1,282万8,000円を計上しております。主なものは、13節委託料1,186万8,000円については、手光最終処分場周辺の環境調査等委託594万3,000円、手光最終処分場等の地下水、浸出水等に関する周辺環境の調査業務でございます。施設・整備管理等委託324万円は、旧福岡工場及び手光最終処分場の樹木剪定、草刈等の植栽管理委託でございます。施設・設備保守・整備等委託120万5,000円、手光最終処分場の水処理設備の保守点検委託料でございます。その他委託料として148万円、池浦最終処分場の閉鎖を検討するための資料作成委託料でございます。

続きまして、2項古賀清掃工場じん芥処理費でございます。

14ページ、15ページをお願いいたします。

2項1目じん芥処理総務費、前年度より870万3,000円減の2億2,859万5,000円を計上しております。職員人件費7,246万2,000円、組合職員8名分の2節給料、3節職員手当等、4節共済費、19節負担金、補助及び交付金でございます。

清掃工場管理運営費（古賀清掃工場）1億5,613万3,000円、主なものは、1節報酬10万2,000円、環境委員会委員10名分の報酬です。

2節給料、3節職員手当等、4節共済費については、ボイラー・タービン主任技術者と電気主任技術者の常勤嘱託職員2名分に対するものでございます。

11節需用費5,172万7,000円、主なものは、工場内の蛍光灯、事務用品等の消耗品費130万円、広報紙の発行、各種伝票等に要する印刷製本費180万円、電気料3,830

万9,000円、水道料852万6,000円でございます。12節役務費339万7,000円は、電話料、郵便料、各種保険料でございます。

16ページ、17ページをお願いいたします。

13節委託料7,166万3,000円、主なものは、啓発・再生事業等委託1,186万6,000円、自転車・家具等の再生、再生展示棟の運営や各種環境教室の開催等に係る費用でございます。環境調査等委託3,640万5,000円、工場周辺の大気質、水質、土壌等の環境調査及び工場に係るごみ質、排ガス、作業環境や機能検査等及び環境委員会審議資料の作成、取りまとめ等に係る環境委員会支援委託でございます。施設・設備管理等委託1,136万3,000円、工場敷地内の植栽管理委託、施設清掃委託、警備委託でございます。施設・設備保守・整備等委託1,124万2,000円、エレベーター、自動ドア、空調設備、消防設備、浄化槽等の保守整備に係る費用でございます。

14節使用料及び賃借料48万7,000円、主には複写機の使用及びリースに係る費用です。18節備品購入費20万円、主なものは施設内連絡用PHS電話機を購入する費用でございます。

19節負担金、補助及び交付金1,258万6,000円、主なものは派遣職員負担金985万5,000円で、構成町からの派遣職員1名分でございます。その他負担金250万円、地元筵内区に対する特別区費でございます。

22節補償、補填及び賠償金700万円、地元筵内区に対する協力費でございます。

27節公課費17万5,000円、主なものは「公害健康被害の補償等に関する法律」に基づく汚染負荷量に対する賦課金でございます。

2目可燃物処理費、前年度より2,478万5,000円増の10億1,162万9,000円を計上しております。

焼却場管理運営費（古賀清掃工場）、主なものは、11節需用費2億3,431万円、消耗品費2,700万円は、ごみ焼却に伴う各設備のグリース、潤滑油、液体酸素、フレコンバッグ、運転に係る電気・計装等機器部品等に係る費用でございます。

燃料費1億5,134万4,000円、灯油1,700キロリットルと洗車棟灯油、LPGに係る費用でございます。修繕料80万円、建物・車両の修理に係る費用です。医薬材料費5,516万6,000円、ダイオキシン類除去剤、ボイラー用薬剤、排水処理薬剤等に係る費用でございます。

12節役務費47万7,000円、作業用重機、車両等の点検手数料、賠償責任保険及び損害共済保険に係る費用でございます。

18ページ、19ページをお願いいたします。

13節委託料7億7,678万4,000円、施設・設備運転等委託2億253万3,000円は、焼却施設に係る運転管理委託でございます。施設・設備保守・整備等委託5億443万2,000円は、焼却施設を休止して行う施設定期整備等委託の4億6,944万円、施設法定整備等委託の3,499万2,000円は、ごみクレーンの法定整備、ボイラー・タービンの法定整備に係る費用でございます。灰処理等委託6,981万9,000円、焼却施設から発生す

る脱塩残渣及び溶融飛灰を処分する飛灰等処理委託及び定期整備時に溶融炉やボイラー内から発生する清掃灰処理委託に係る費用でございます。

3目不燃物処理費、前年度より231万5,000円減の1億706万4,000円を計上しております。リサイクルプラザ管理運営費（古賀清掃工場）、主なものは、11節需用費442万4,000円、各設備の潤滑油、梱包用袋等の購入に係る消耗品費180万円、燃料費122万4,000円、修繕料140万円は、施設、作業用重機及び車両に係る費用でございます。

12節役務費183万9,000円、作業用重機・車両の点検手数料、賠償責任保険、損害共済保険に係る費用です。13節委託料1億76万8,000円、施設・設備運転等委託5,832万円は、リサイクルプラザの運転管理業務に係る費用でございます。施設・設備保守・整備等委託3,669万1,000円は、主にホイストクレーンに係る法定整備及びコンベアを主とする設備補修に係る費用でございます。不燃物等処理委託575万7,000円は、廃蛍光管、廃乾電池等の処理委託に係る費用でございます。

4目処分場管理費、前年度より1万円減の20万8,000円を計上しております。最終処分場管理運営費（古賀清掃工場）11節需用費、施設等の修繕料として4万円、13節委託料16万8,000円は、ホイストクレーン2基の整備委託に係る費用でございます。

続きまして、3項宗像清掃工場じん芥処理費でございます。3項1目じん芥処理総務費、前年度より332万2,000円増の1億9,518万7,000円を計上しております。職員人件費6,625万1,000円、組合職員7名と再任用職員1名の2節給料、3節職員手当等、4節共済費、19節負担金、補助及び交付金でございます。

20ページ、21ページをお願いいたします。

清掃工場管理運営費（宗像清掃工場）1億2,893万6,000円、主なものは、1節報酬305万4,000円、非常勤嘱託職員2名並びに環境委員会委員9名の報酬でございます。

2節給料、3節職員手当等、4節共済費については、ボイラー・タービン主任技術者と電気主任技術者の常勤嘱託職員2名分に対するものでございます。

11節需用費4,121万1,000円、主なものは、工場内の蛍光灯、事務用品等の消耗品費171万7,000円、電気料3,191万円、水道料527万6,000円、修繕料200万円です。

12節役務費271万8,000円は、電話料、郵便料、各種保険料でございます。

22ページ、23ページをお願いいたします。

13節委託料6,021万6,000円、主なものは、啓発・再生事業等委託188万7,000円、自転車・家具等の再生、ごみリサイクル啓発に係る費用でございます。環境調査等委託3,049万5,000円、工場周辺の大気質、水質、土壌等の環境調査及び工場に係るごみ質、排ガス、作業環境や機能検査等、環境委員会審議資料の作成、取りまとめ等に係る環境委員会支援委託でございます。

施設・設備管理等委託2,175万2,000円、工場敷地内の植栽管理委託、施設清掃委託、警備委託でございます。施設・設備保守・整備等委託495万4,000円、エレベーター、自動ドア、重量シャッターや空調設備に係る費用でございます。機器保守・整備等委託71万



4,000円、電話・通信機器保守に係る費用でございます。

14節使用料及び賃借料35万円、主には複写機の使用及びリースに係る費用です。

15節工事請負費30万円、管理棟から連絡通路下の鳥対策に係る費用でございます。18節備品購入費20万円、施設内連絡用PHS電話機を購入するものでございます。

19節負担金、補助及び交付金1,071万6,000円、主なものは、派遣職員負担金1,033万3,000円、構成市からの派遣職員1名分でございます。

27節公課費8万円、古賀工場と同様の汚染負荷量賦課金でございます。

2目可燃物処理費、前年度より89万2,000円増の7億1,067万円を計上しております。

焼却場管理運営費（宗像清掃工場）、主なものは、11節需用費2億1,121万4,000円、消耗品費5,500万円は、主には溶融炉の出湯に伴うロッド・ビット、酸素パイプや油脂類、フレコンバッグ、運転に係る資材、電気部品です。燃料費1億895万1,000円、主にはコークス約2,150トン、石灰石約860トンに係る費用でございます。修繕料159万7,000円、排ガス分析計、汚水ポンプなどの修理に係る費用でございます。医薬材料費4,566万6,000円、排ガス処理薬剤、ボイラー用薬剤、排水処理薬剤に係る費用でございます。

なお、今まで飛灰処理を委託しておりました業者が飛灰処理事業から撤退したことで、一時的に最終処分場へ保管するための薬剤処理を行う必要が生じたので、飛灰処理委託料で5,096万3,000円の減、医薬材料費が2,381万5,000円の増となっております。

12節役務費23万8,000円、ボイラーの法定点検手数料です。

13節委託料4億9,899万円、施設・設備運転等委託2億1,276万円は、ガス化溶融施設に係る運転管理委託でございます。

24ページ、25ページをお願いいたします。

施設・設備保守・整備等委託2億8,386万4,000円は、溶融施設を休止して行う施設定期整備等委託2億1,363万1,000円、施設法定整備等委託7,023万3,000円は、ボイラー・タービンの法定整備に係る費用でございます。灰処理等委託236万6,000円、飛灰処理委託に係る費用でございます。

18節備品購入費22万8,000円、経年劣化した業務用掃除機の購入に係る費用でございます。

3目不燃物処理費、前年度より550万9,000円増の1億1,497万3,000円を計上いたしております。リサイクルプラザ管理運営費（宗像清掃工場）、主なものは、11節需用費430万6,000円、重機等の油脂類、梱包用袋、機器補修部品等の購入に係る消耗品費200万円、燃料費120万6,000円、修繕料110万円は、作業用重機及び車両の車検に係る費用でございます。

12節役務費135万1,000円、作業用重機・車両の点検手数料、賠償責任保険及び損害共済保険に係る費用でございます。

13節委託料1億916万円、施設・設備運転等委託8,578万2,000円、リサイクル

プラザの運転管理委託7,066万6,000円、不燃物選別等委託1,511万6,000円でございます。施設・設備保守・整備等委託2,000万円は、主にはクレーンに係る法定整備、破碎機のカッター交換、計量用つり銭機器保守整備に係る費用でございます。不燃物等処理委託337万8,000円、廃蛍光管、廃乾電池等の処理委託に係る費用です。

4目処分場管理費、前年度より9万2,000円減の50万4,000円を計上しております。最終処分場管理運営費（宗像清掃工場）、13節委託料50万4,000円、クレーンの年次点検及び漏水検知システムの保守点検整備委託に係る費用でございます。

4款1項公債費、前年度より894万8,000円減の20億9,765万2,000円を計上いたしております。

1目元金20億3,402万6,000円、長期債元金の内訳は、古賀清掃工場11億6,981万4,000円、宗像清掃工場8億6,421万2,000円でございます。

なお、減額分は宗像清掃工場分でございます。

26ページ、27ページをお願いします。

2目利子6,362万6,000円、長期債利子の内訳は、古賀清掃工場3,517万7,000円、宗像清掃工場2,844万9,000円でございます。

5款1項1目予備費、前年度と同額の2,200万円を計上いたしております。両工場それぞれ1,000万円、本部200万円でございます。

以上、歳出合計45億7,464万5,000円とするものでございます。

続きまして、歳入の説明をいたします。

戻っていただきまして、4ページ、5ページをお願いいたします。

1款1項1目経常費分担金20億3,409万4,000円、この経常費分担金は、組合規約第13条の規定により、均等割2割、人口割2割、投入量割6割の割合により算定されるものでございます。1節本部経常費分担金3,370万3,000円、2節古賀清掃工場経常費分担金11億3,998万円、3節宗像清掃工場経常費分担金8億6,041万1,000円。構成市町別の分担金は説明欄に記載のとおりでございます。

2目創設費分担金20億9,765万2,000円、この創設費分担金は、同じく組合規約第13条の規定により、均等割3割、人口割4割、投入量割3割の割合により算定されるものでございます。1節古賀清掃工場創設費分担金12億499万1,000円、2節宗像清掃工場創設費分担金8億9,266万1,000円。構成市町別の分担金は説明欄に記載のとおりでございます。

2款1項1目ごみ処理場使用料1億9,342万4,000円、1節古賀清掃工場使用料1億486万円は、個人搬入が2,296万円、汚泥搬入が8,190万円でございます。2節宗像清掃工場使用料8,856万4,000円は、個人搬入が2,485万円、汚泥搬入6,371万4,000円でございます。

2目グラウンド使用料は、旧福岡清掃工場のグラウンド使用料として7万円を計上いたしております。

3款1項1目財産貸付収入360万円は、旧福岡清掃工場跡地を太陽光発電所用地として貸

し付けをしたことによるものでございます。

6ページ、7ページをお願いいたします。

3款1項2目利子及び配当金430万9,000円は、財政調整基金及び閉鎖等基金の一部を定期預金で運用したことによる利子でございます。

4款1項基金繰入金7,448万円、1目財政調整基金繰入金7,300万円は、2款1項総務管理費、3款2項古賀清掃工場じん芥処理費及び3款3項宗像清掃工場じん芥処理費へ繰り入れるものでございます。

2目閉鎖及び埋立物再処分基金繰入金148万円、これは歳出で申し上げましたように、池浦最終処分場調査支援委託への充当として繰り入れを計上いたしております。

5款1項1目繰越金2,200万円、前年度繰越金として計上いたしております。

6款1項1目雑入1億4,501万6,000円、古賀清掃工場雑入8,765万6,000円及び宗像清掃工場雑入5,735万9,000円については、各種有価物の売却益や発電に伴う電力売却益、容器包装リサイクル協会からの再商品合理化拠出金等をそれぞれ計上するものでございます。

以上、歳入合計45億7,464万5,000円とするものでございます。

以上で、平成27年度玄界環境組合会計の説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（奴間 健司君） これより質疑に入りますが、当初予算で内容も多いので、五つに分けて質疑を受けたいと思います。

一つ目は、予算書8ページから13ページの本部経常経費に関する部分、二つ目は、12ページから19ページ、古賀清掃工場に関する部分、三つ目は18ページから25ページの宗像清掃工場に関する部分、四つ目は24ページの公債費から最後まで、五つ目は4ページから7ページの歳入部分であります。

この間で1人3回までの質問としますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（奴間 健司君） それでは、まず8ページから13ページの本部経常経費の部分で何か質問はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（奴間 健司君） 続きまして、12ページから19ページ、古賀清掃工場に関する部分で何かご質問ございませんか。

安武議員。

○議員（3番 安武 研二君） 17ページの委託料の中の9細節の分で、前年度は計量受付委託で389万円上がっていたんですが、27年度は上がってないんですが、この委託はどうされたんですか。

○議長（奴間 健司君） 古賀清掃工場場長。

○古賀清掃工場場長（中村真一郎君） 計量棟の受付の委託の部分でございます。昨年度までは清掃工場管理運営費の委託料から支出しておりましたが、27年度から支出科目を変更という

ことで、可燃物処理費の委託料から支出ということに変更させていただいております。

○議長（奴間 健司君） ほかにございませんか。

飯尾議員。

○議員（7番 飯尾 助広君） 19ページ、委託料の保守点検整備ですが、古賀工場、13億の費用の中ですね、5億はこの点検保守にかかっているわけですが、この施設定期整備委託料4億6,944万円、これは昨年度と比べましてですね、4,500万円ほど上がっているんですが、この状況の報告をお願いいたしたいと思います。

○議長（奴間 健司君） 古賀清掃工場場長。

○古賀清掃工場場長（中村真一郎君） 委託料の部分でございます。これにつきましては、高温空気加熱器鋳鋼管の交換時期が来ておりますので、増額となっております。1系、2系、96本を交換する予定でございます。

○議長（奴間 健司君） 飯尾議員。

○議員（7番 飯尾 助広君） ということは、これは一時的にふえるというふうに解釈してよろしいでしょうか。

○議長（奴間 健司君） 古賀清掃工場場長。

○古賀清掃工場場長（中村真一郎君） 耐用年数が5年ということで、この部分につきましては、平成19年、20年に交換した部分が7年ぐらいたっておりますので、交換ということで、耐用年数を過ぎた状況で今後も交換はあるかと思っております。

○議長（奴間 健司君） ほかにございませんか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（奴間 健司君） 続きまして、18ページから25ページの宗像清掃工場に関する部分で何かご質問される方はございませんか。

碓野議員。

○議員（6番 碓野九州男君） 23ページの燃料費ですね、これは1億895万1,000円になっておりますが、古賀清掃工場と比較をしますと、過分にですね、宗像のほうが多くないかという感じもしますが、本来であれば、今、コークスを投入されてるように聞いておりますが、コークスの燃料を含めて非常に単価が上がっているようにも、ちょっと私はよう細かいことはわかりませんが、その辺の兼ね合いというのは、投入量によっても違うんでしょうけども、どういうふうに理解したらよろしいんでしょうか。教えていただきたいと思っております。

○議長（奴間 健司君） 宗像清掃工場場長。

○宗像清掃工場場長（梶谷 博之君） コークスにつきましては、これは全て海外から輸入をしております。そういったことで、非常に相場に影響されるものでございます。今、円安が進んでおりますので、輸入については価格などに変更がございしますが、コークスにつきましては、製鉄関係でよく使うんですが、海外あたりの非常に今景気が落ちております。そういったことで、コークスが少しだぶついているというような状況になっております。そういったことで、今、予算につきましては、1トン当たり4万円を計上させていただいておりますが、実際26年度につきましても約3万から3万5,000円の間で入札で落札をしている状況でございま

す。

○議長（奴間 健司君） ほかにございませんか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（奴間 健司君） 続きまして、24ページの公債費から最後の部分で、何かご質問ございませんか。

吉田議員。

○議員（1番 吉田 益美君） 24ページの公債費の件ですが、宗像工場は今8億9,000万円ほど支払っていますが、最終年度が何年度かと。それと、現在、どれぐらいの残高が残っているかということをお願いします。

○議長（奴間 健司君） 宗像清掃工場場長。

○宗像清掃工場場長（梶谷 博之君） 宗像清掃工場につきましては、平成26年度末で24億4,692万円の残高がございます。ただ、償還のピークは26年度までで、27年度につきましては894万9,000円の減になっております。平成30年度までにほとんど償還が終わってしまいます。完了は平成32年となっております。

○議長（奴間 健司君） 吉田議員。

○議員（1番 吉田 益美君） 今のは元金だけでしょうか、それとも元利で24億円でしょうか。

○議長（奴間 健司君） 宗像清掃工場場長。

○宗像清掃工場場長（梶谷 博之君） 元利ともにということです。

○議長（奴間 健司君） よろしいですか。ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（奴間 健司君） それでは、最後に歳入全般の方で、何かご質問ございませんか。

飯尾議員。

○議員（7番 飯尾 助広君） 5ページですね、分担金につきましては。先ほど補正予算で約10億円近い財政調整基金の繰り越しがあつてはるんですが、これは各構成市町の分担金にどのように反映されてるか。先ほど、各市町の負担を減らすというような話でございましたけれども、どういうふうに影響してるかということをお教えいただきたいと思ひます。

○議長（奴間 健司君） 総務課長。

○総務課長（藤井 巧一君） 財政調整基金の繰り入れにつきましては、予算書7ページにありますとおり、本部の財政調整基金については4,300万円、古賀清掃工場と宗像清掃工場につきましては、それぞれ1,500万円を繰り入れをしております。ということで、分担金については、その額が総額で減になっているという状況であります。各構成ごとにこの金額が幾ら割り当てになっているかというのはちょっと把握しておりませんので、以上でよろしいでしょうか。

○議長（奴間 健司君） 飯尾議員。

○議員（7番 飯尾 助広君） ちょっと先ほど聞けばよろしかったんですが、先ほど古賀工場では4億8,900万円の繰り越しということでございましたけれども、大きな事故の財源に

なっているということをごさいましたけども、大体どのくらいが標準というか、基本的に繰り越すというふうに考えてあるんですか。

○議長（奴間 健司君） 総務課長。

○総務課長（藤井 巧一君） 大きな事故の想定につきましては、3億5,000万円程度を見ているところであります。

○議長（奴間 健司君） ほかにございませんか。よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（奴間 健司君） 質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

まず、本案に対する反対討論の発言を許します。ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（奴間 健司君） 次に、本案に対する賛成討論の発言を許します。ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（奴間 健司君） 討論を終結いたします。

直ちに採決いたします。本案を原案のとおり決定することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立7／7名〕

○議長（奴間 健司君） 全員賛成であります。よって、議案第3号は原案のとおり可決されました。

---

○議長（奴間 健司君） 以上で、本議会に付議されました案件の審議を全部終了いたしました。

ここでお諮りいたします。本議会中、誤読などによる字句、数字等の整理、訂正は議長に委任していただきたいと思いますが、異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（奴間 健司君） 異議なしと認めます。よって、誤読などによる字句、数字等の整理、訂正は議長に委任していただくことに決定いたしました。

これにて、平成27年玄界環境組合議会第1回定例会を閉会いたします。

ご協力ありがとうございました。

午後2時30分閉会

---

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成27年2月17日

議 長 奴間 健司

署名議員 吉田 益美

署名議員 植木 隆信